

# 地区方針・ガバナー特別賞

## 2019-20年度 地区方針

### 「グローバルに考え 地域社会とつながり ロータリーを成長させよう」

#### — ポスト平成のクラブをデザインする —

私たちは今、大きな変化の時代にロータリー活動をしています。日本の少子高齢化をとまなう人口減少は前人未到の領域に入り、急速に進む非連続的な技術進歩も経済社会の様々な面で大きな影響を与えつつあります。そうした大きな変化の時代に、ロータリークラブの持続可能性は、その中にどれほどの多様性と柔軟性を包摂できるかに依存します。

マーク・D・マローニーRI会長は「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマを掲げました。ロータリーのビジョン声明（2017年採択）には次のように謳っています。「私たちロータリアンは、世界で地域社会で自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」。つまり、私たちはロータリーを通じて手を取り合ってつながります。ロータリーを成長させる方法も、つながりにあります。つながりがより大きくなれば地域社会へより大きなインパクトをもたらします。そのために従来のロータリークラブの既成概念を抜け出す多様性と柔軟性で適応力を高めるのです。

多様性と柔軟性が組織の持続可能性において大きな因子であることはビジネスの世界で明白です。Apple社が初めて市場参入したときはイノベーターでした。ロータリーがその初期において社会的変化と良いことを生むつながりという点でイノベーターであったことと同じです。やがてApple社は社会の変化に多様性と柔軟性で対応した適応力を身に着け世界で最も価値ある企業の一つになりました。一方、Kodak社に起きたことは、かつては革新的な技術を持っていたものの革新を止めてしまい社会の変化への柔軟性を失い倒産を余儀なくされました。

この例の轍を踏むことなく、ロータリークラブはロータリーの5つの中核的価値観をベースに、さらに踏み込んだ“知的多様性”と“革新的柔軟性”を取り入れる必要性が高くなっています。10年後20年後の日本のロータリークラブの人口構成を想定するとポスト平成のロータリークラブは“知的多様性”と“革新的柔軟性”を包摂することなくして持続可能性を高めることはできません。私たちはお互いの違いを超え、深く意義あるかたちでつなぎ、つながりを地域に発展させ、職業上のネットワークを広げ、ロータリークラブの公共イメージの向上とともにクラブの在り方をデザインし、ロータリークラブを成長させていくことが重要です。さあ、時は今です。各クラブがロータリーを成長させることを考え行動しましょう。

# 《活動指針》

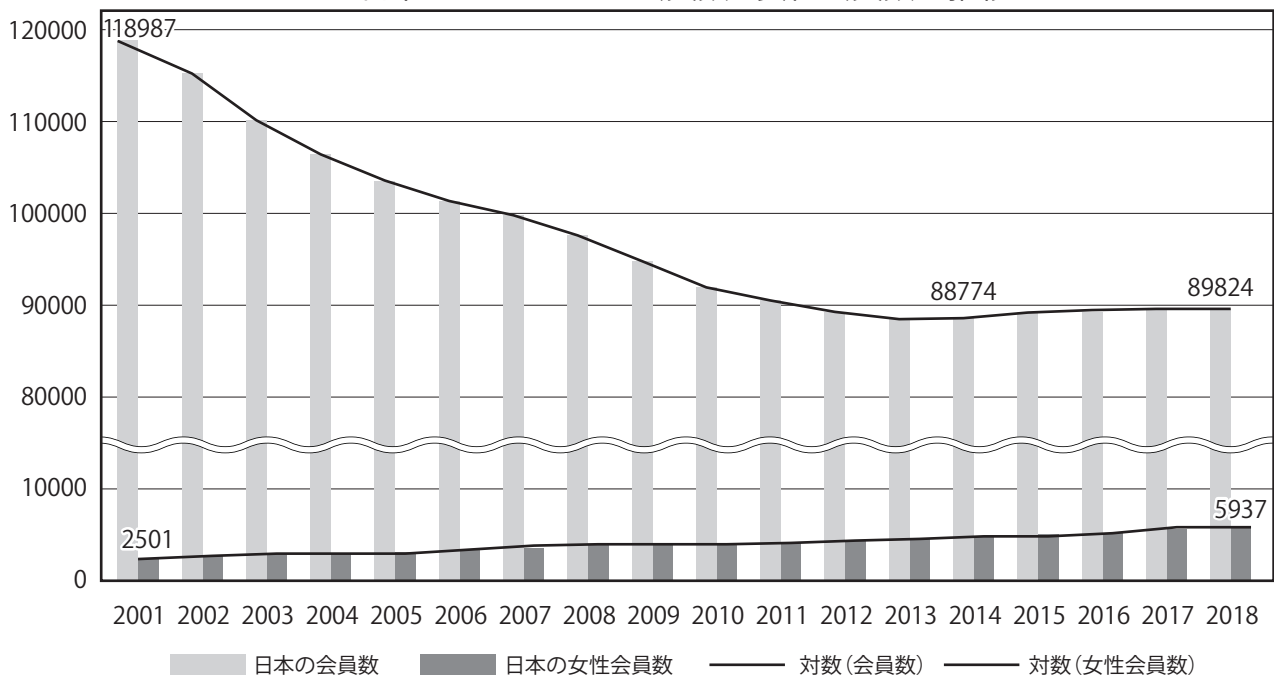
## ● クラブ戦略委員会で例会と奉仕の在り方を見直す

- ・今年から始まる5年間のRI戦略計画を理解し行動する。
- ・変化を受け入れるためのビジョン、スキル、メリット、行動計画を作成する。
- ・各クラブのホームページを戦略的に見直し、つながるロータリーを意識する。
- ・持続的革新のためにオンラインツール、リソースを活用する。  
(マイロータリー、クラブセントラル、ラーニングセンター)

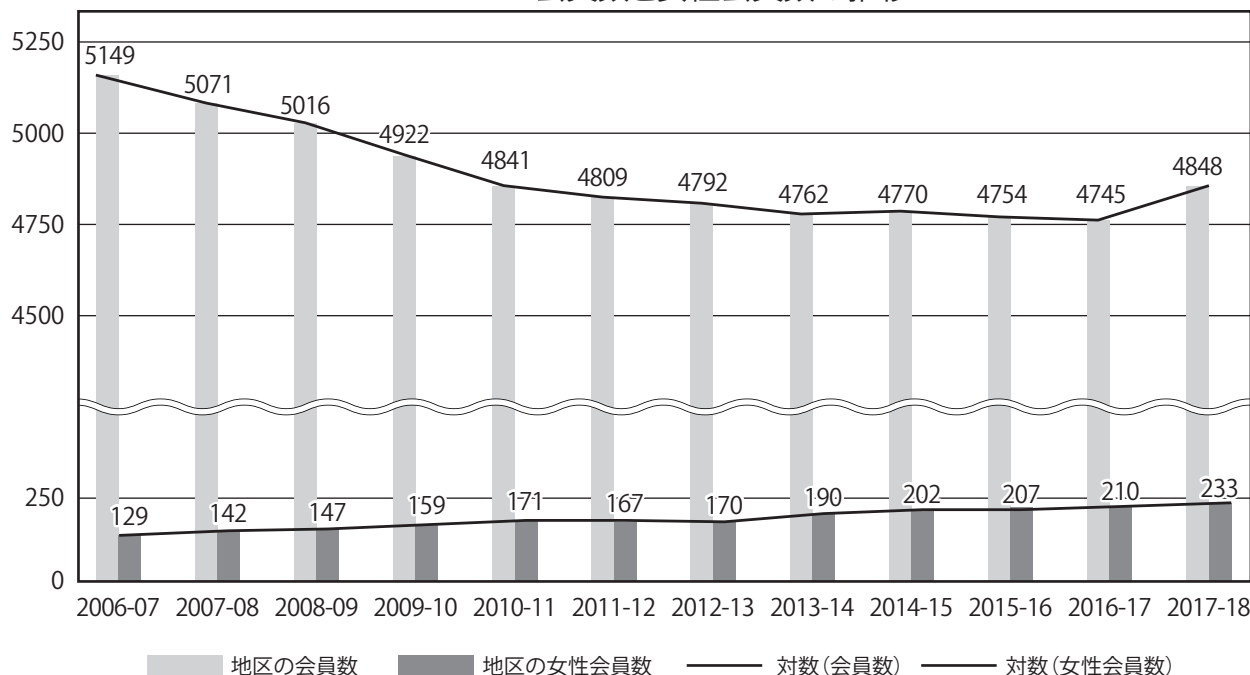
## ● 会員増強と退会防止

- ・各クラブ会員の年齢構成から10年後20年後の年齢構成を想定し、クラブが持続可能で輝けるかを考え、50歳未満の会員の入会を促進する。
- ・地域とのつながりを強め女性会員の入会を促進する。
- ・退会防止のために例会の在り方、工夫した例会などの革新的柔軟性を取り入れつつつながりを大切にする。

日本のロータリーの会員数と女性会員数の推移



RID2760会員数と女性会員数の推移



● ポリオ撲滅への貢献

- ・ポリオ撲滅ための募金活動を奉仕に取り入れ地域社会とロータリーをつなげる
- ・ワールドフード+ふれ愛フェスタ（WFF）に参加し、公共イメージ向上に協力する

● ロータリー賞への挑戦

（地区便覧 10～13ページ参照）

● 国際大会（ハワイ・ホノルル）への参加

2020年6月6日（土）～10日（水）

2019－20年度 ガバナー特別賞

クラブ戦略委員会を設置しており、MY ROTARY登録がクラブ会員の40%以上、ロータリークラブセントラルを利用しているクラブで、次のどちらか一つを達成したクラブ。

1. 地区の活動方針に沿って有意義な事業となった活動で、クラブ会長より申告があり、ガバナーも認める成果をあげたクラブ
2. 米山記念奨学事業として①②の両方を達成しているクラブ
  - ① クラブ一人平均2万円以上の寄付額を達成（特別・普通寄付合計金額）
  - ② クラブ特別寄付率80%以上を達成（特別寄付人数÷クラブ会員数）

表彰の対象となる期日は2020年3月31日現在とします。未完の事業は申告時に完了時期を明記してください。また、小数点以下切り上げとします。

# RI戦略計画

ロータリーの戦略計画は、未来の枠組みを設けることで、世界各地でより良い地域社会づくりを行う定評あるダイナミックな団体としてロータリーが評価され続けるようにするものです。

ポリオ撲滅まであと少しのところにあるロータリーは、さらに多くの人の結束を促し、活動のインパクトをたかめ、世界に変化をもたらしていくための新たな道を切り開くときが来ています。

ロータリー理事会と財団管理委員会は、次なる戦略計画の土台となる4つの主要優先事項と目的を承認しました：

## より大きなインパクトをもたらす

ロータリーは、人びとの生活をより良くするための変化をもたらそうと努力しています。ロータリー会員は、幅広い奉仕活動でボランティアとなり、資金的なリソースを捧げていますが、今後は活動の結果と成果をより効果的に図っていくこととなります。ロータリーは、入会者、協力団体、寄付者にとって魅力ある団体であり続けるために、プログラムに力を注ぎ、持続的な成果を実証していきます。

目的：

- ポリオを撲滅し、残された資産を活用する
- ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる
- 活動成果を挙げ、それを測る能力を高める

## 参加者の基盤を広げる

人びとは、世界に変化をもたらし、人間関係を築く方法を求めています。私たちは、人びとが求めていることをロータリーで見つけられるよう、どのように手助けできるでしょうか。その答えは、より多くの人や組織が参加できる独特な機会を創り出すことです。クラブは、これからもずっと大切です。その一方で、全世界に会員基盤を広げるために、より多くの参加者をロータリーに迎え入れる画期的なモデルを使って現在の構造を拡大し、一体となって行動できる意義ある方法を提供していきます。

目的：

- 会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する
- ロータリーへの新しい経路を創り出す
- ロータリーの開放性とアピール力を高める
- 活動成果とブランドに対する認知を築く

## 参加者の積極的なかかわりを促す

めまぐるしく変わる現在の世界にクラブが直面している課題を認識しているロータリーは、会員の参加と維持を促すような経験をクラブが提供できるよう支援します。会員に経験と価値を提供できるようクラブを支援することで、ともに奉仕し、人間関係を広げ、より満足のいく経験をロータリーで得られる機会を、ロータリアンや他の参加者に提供することができます。

目的：

- クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する
- 価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する
- 個人的／職業的なつながりを築くための新たな機会を提供する
- リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する

## 適応力を高める

ビジョンを達成し、変わりゆく世界的な傾向に追いつくため、構造と文化を進化させていかなければなりません。私たちは、すべての参加者を効率よく、柔軟で、効果的に支援できるような運営とガバナンスの構造を築きます。

目的：

- 研究と革新、および進んでリスクを負うことへの意思を奨励する文化を築く
- ガバナンス、構造、プロセスを合理化する
- 意思決定におけるより多様な考え方を育むために、ガバナンスを見直す